



対人援助学マガジン読書会報告

対人援助学マガジン読書会（第2回）実施報告

2021年7月23日に第2回目の「対人援助学マガジン読書会」をオンライン（Zoomミーティング）で開催しました。

第2回の指定図書は、山下桂永子さんの「心理コーディネーターになるために」で、編集部を含め8名の読者と、執筆者の山下さんをご参加くださいました。現在の連載だけでなく、過去の連載（町屋合宿 in 京都）にも話は及び、執筆の動機、連載テーマ変更の背景、心理職の現状…など、さまざまな話題が展開されました。

第2回読書会指定図書執筆者：山下桂永子さん



市の教育委員会での教育相談をはじめ、フリースクールのスタッフやスクールカウンセラー、保健所・クリニック・産業分野での業務、看護学校のピンポイント講師など、多方面で心理専門職として活動。

個人的な活動として、町家合宿を10年以上継続している。（「町家合宿 in 京都」を参照。マガジン27号から41号まで14回連載）

（執筆者短信等から抜粋）

◆第3回読書会のご案内◆

対人援助学マガジン第3回読書会を下記の要領にて開催いたします。

読書会では、指定図書を事前に読んだ参加者が集まり、読書を通して得た気づきや感想、意見を共有することで、より深く、より広く、マガジンを楽しむことができると考えています。

期日：2021年10月29日（金） 21時から23時

定員：10名程度（先着順）

指定図書：「役場の対人援助論」（最新46号38回連載中）

※当日までに指定図書の最新号を読んでおいてください。

※可能な範囲でバックナンバーおよび前の連載も読んでみてください。

執筆者：岡崎 正明氏

執筆者紹介：（執筆者短信等から抜粋）

行政職員として、窓口に持ち込まれる“相談事”をめぐる「役場の対人援助」について、コミュニケーションや関係性、仕組み、服装など、毎回様々な観点から考察する「役場の対人援助論」を第8号から連載。現在38回目を連載中で、間もなく連載10年を迎える。

申込方法：

リンク先の入力フォーム（こちらを[クリック](#)）に必要事項をご記入の上、送信してください。メールでのお申込みは takashi_otani7929@yahoo.co.jp まで、件名を「読書会参加希望」としてお送りください。開催期日が近づきましたら、Zoom ミーティングの情報をお送りします。

編集部：大谷多加志